

たがじょう



市議会
だより

■発行／多賀城市議会 ■編集／広報特別委員会
〒985-8531 宮城県多賀城市中央2-1-1
●電話 022-368-1141 ●FAX 022-368-1397

令和4年(2022年)
5月1日発行



令和4年度当初予算	P2
令和4年度予算の賛成・反対討論	4
令和4年第1回定例会結果	6
総括質疑	8
一般質問	10
あんなことこんなこと議論の足跡	15
多賀城創建1300年事業調査特別委員会中間報告	18

▲市道旭ヶ岡街路1号線交差点(変形三叉路)、中央三丁目マンモス坂頂上部の横断歩道の見守りをされている旭ヶ岡町内会の皆さんです。

会に向け 担い手支援に重点化！

令和4年度において重点的に取り組む主な事業

◎妊娠出産支援事業

「お口からはじめる健康づくり」(116万4千円)

歯と口腔の健康が全身の健康に影響を与えることに鑑み、全ての世代を対象に、「お口からはじめる健康づくり」をキャッチフレーズに掲げ歯科口腔保健対策を強化することとし、そのスタートアップとして、妊婦歯科健康診査を歯科医院での個別健診に移行するもの。

◎子ども医療費助成事業(3億663万4千円)

子ども医療費への助成に係る所得制限を令和4年10月から撤廃するもの。

◎地域とともにある学校づくり事業

(地域学校協働活動事業) (759万4千円)

地域とともにある学校づくりを推進するため、学校支援地域本部の体制を基盤として、地域学校協働本部へ発展し、地域学校協働活動などを一層推進するもの。

◎小学校学校施設維持管理事業(2億1,916万1千円)

◎中学校学校施設維持管理事業(2億3,524万7千円)

今後の大規模改修の時期や耐用年数などを見据えつつ、施設の修繕などを重点的に進め、子どもたちの学びの環境を改善するもの。

◎文化センター改修事業(16億8,167万2千円)

東北随一の文化交流拠点の中核施設であり、災害時の避難所でもある「文化センター」の機能強化や老朽化対策などを行うため、大規模改修を行うもの。

◎生活交通ネットワーク維持事業

(4,138万8千円)

65歳以上の高齢者および障害者が、ICTを活用して社会参加や生きがいづくりを行う社会実験として、多賀城東部線および多賀城西部線のバス運賃を令和4年10月から無償化するもの。

◎地域社会DX推進事業

(145万円)

事業者と連携し、スマートフォンの利用方法などを学ぶことのできる講習会およびモデル自治会・町内会でのICT活用による地域課題解決のためのワークショップを開催するもの。

◎市政情報発信事業

(2,344万1千円)

市政情報をリアルタイムに発信するため、khb 東日本放送でのテレビのデータ放送の利用を開始するもの。

第1回 定例会結果

地域共生社 未来の

新型コロナウイルス感染症のまん延が続く中、令和4年度における市の事業と各会計当初予算を審議する第1回定例会が、2月7日から3月9日までの会期で開催されました。

コロナ禍が続く中、市民生活を支援するための施策推進に係る議案の審議を行いました。

令和4年度 各会計当初予算

令和4年度当初予算の規模は、令和3年度当初予算と比較して大きく増加し、特に一般会計予算では20億8,000万円の増加となり、その主な要因として社会保障施策における扶助費の伸びが挙げられます。

会 計 の 種 類		令和4年度当初予算額	伸 率 (%)
一 般 会 計		271 億 7,000 万円	8.3
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	54 億 2,000 万円	11.2
	後 期 高 齢 者 医 療	7 億 2,300 万円	12.1
	介 護 保 険	44 億 4,800 万円	3.5
	小 計	105 億 9,100 万円	7.9
企 業 会 計	水 道 事 業	21 億 1,700 万円	▲ 3.5
	下 水 道 事 業	52 億 2,607 万 8 千円	8.3
	小 計	73 億 4,307 万 8 千円	4.6
合 計		451 億 407 万 8 千円	7.6

※伸率(%)は、令和3年度当初予算との比較です。

令和4年度予算

賛成・反対 討論



賛成

チルドレンファーストの 基軸予算編成に期待

自由民主党多賀城市議員 佐藤 雅博

市長は、施政方針にて本市の最も大切な資源は、このまちに暮らす市民であり、共にマンパワーを結集し日本で一番暮らしやすいまちの実現に力を尽くすと述べています。この考え方で立案された令和4年度予算案の特徴は、令和3年度で多賀城の未来づくりのためにまかれた種から芽を息吹かせる事に重きを置く、未来の担い手である子どもたちを大人が全力応援するチルドレンファーストの考えの各事業、全身の健康に大きな影響を及ぼすと言われている口腔ケア対策、市民の多様な活躍の機会を創出する事業などです。

主なものは、子ども医療費助成事業、妊婦出産支援事業、地域とともにある学校づくり事業、小中学校施設維持管理事業、地域社会DX事業、市民の声の広場事業、生活交通ネットワーク維持事業など果敢に挑戦し、未来を切り開く事業が多く見受けられます。一般会計予算は、前年度対比20億8千万円の増加です。その内

容は、扶助費と未来の担い手のため、活躍の機会を創出する戦略的投資です。国民健康保険特別会計は、コロナ感染症拡大による受診控えが解消されてきていることによる保険給付費の増額、後期高齢者医療特別会計は、被保険者の増加傾向に伴う保険給付費の増額、介護保険特別会計は、要支援、要介護者の増加傾向に伴う保険給付費の増額、水道事業会計は、企業債元利償還金および配水管整備事業の減少などによる減額、下水道事業会計は、雨水ストックマネジメント事業などの増加による増額、以上全会計合計451億407万8千円は、社会や地域情勢に合った事業の選択と集中が図られており、全会計予算は適切な計上です。特に、未来の担い手である子どもたちの各事業、高齢者の健康対策、口腔ケア対策、市民の活躍創出事業に期待し、賛成討論といたします。

賛成

子どもたちの健やかな学びを支え、市民の多彩な活躍の機会を創出する創意工夫に満ち溢れた予算

公明党多賀城市議団 阿部正幸

議案第11号、令和4年度多賀城市一般会計予算から、議案第16号、令和4年度多賀城市下水道事業会計予算まで、公明党多賀城市議団を代表して、一括して賛成討論を行います。

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に未だ終息の目途が立たず、さらなる感染症のまん延への不安が続いております。この難局を乗り越えるため、深谷市長を中心に、総力をあげた取り組みを引き続きお願い致します。

令和4年度は、第六次多賀城市総合計画に定めた3つの重点テーマを踏まえつつ、重点的に取り組む事業として47事業を掲げました。その中には、市長の公約でもあり、公明党多賀城市議団としても要望をしておりました「子ども医療費助成事業」の所得制限を、令和4年10月から撤廃する取り組みを評価致します。財源につきましては、県や国にも小学校6年生まで、補助対象としていただくように強く要望をお願いします。

また、多賀城創建1300年に向けて、プレイベントとして多賀城創建1300年記念事業実行委員会とタイアップしながら、歴史や文化を体験、体感できる多種多様なプログラムを実施し、万葉花いっぱいプロジェクトや光のインスタレーションなども取り組む「多賀城創建1300年記念関連事業」は、多賀城の魅力が全国に広まる機会となりますので大いに期待致します。

第六次多賀城市総合計画に掲げた「日々のよるこび ふくらむまち史都 多賀城」の実現と、深谷市長が公約に掲げた「日本で一番暮らしやすいまちづくり」の実現を目指し、市長のリーダーシップを如何なく発揮され、まちづくりが、大きく前進する1年となりますようご期待を申し上げ、賛成討論いたします。

反対

国民に冷たい政治から住民を守り
市民の望みをかなえる独自の施策を

日本共産党多賀城市議団 中田定行

深谷市政二度目の予算編成。市民の希望が叶うまちづくりを期待して討論します。大震災から11年目、被災者支援や、コロナ禍での困窮者支援は、政治の責任において最後まで行うべきです。

《各予算の問題点：反対の理由》

一、安全安心の確保と防災対策を十分に

水害対策を重視し、ハード面の整備も早急・具体的に進めること。介護職員などの処遇改善はあくまで国の責任で行うよう求めます。

二、健康福祉は、応援をもっと積極的に

子ども医療所得制限撤廃は評価。国保の均等割減免の独自上乗せ、大代住宅解体の見直し、補聴器購入補助の独自施策を行うよう求めます。

三、教育文化は、子どもが主人公の予算を充実すること

学校給食の無償化、就学援助の収入基準緩和を早急に実施すること。市立図書館は、市民の願いを

きちんと聞く図書館にするよう求めます。

四、生活環境の充実を

通学路の計画的整備を。市民パスは市民要求の実現を。公害、火力発電、原発、核兵器、気候危機問題には積極的な対応を求めます。

五、産業活気・地域創生・行財政経営について

インボイス制度は国に廃止を要求すること。デジタル推進では、使えない人を置いてけぼりにしないこと、プライバシー侵害、住民サービス低下をしないよう求めます。

六、特別会計・企業会計について

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の各特別会計は、これ以上の負担増を許さず、市独自の負担軽減策を実施するよう求めます。

水道事業および下水道事業会計は、それぞれ黒字の見込みです。水道料金はもっと引き下げを。下水道使用料金の安易な値上げは控えるよう求めます。

令和4年 第1回定例会 市長提出議案

人事1件、条例2件、契約1件、補正予算5件、新年度予算6件および市道路線の認定1件の議案審議を行いました。

1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 令和4年6月30日に任期満了となる委員の後任として、櫻井道子氏を推薦するもの。
2	多賀城市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について 子育てに係る医療費の経済的負担を軽減し、適正な医療機会の確保を図るとともに、子育て支援をより充実させることを目的として、令和4年10月から子ども医療費助成の所得制限を撤廃する改正を行うもの。
3	多賀城市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について 天真小学校放課後児童クラブの位置を変更し、また、多賀城東小学校および山王小学校放課後児童クラブの位置を訂正する改正を行うもの。
4	市道路線の認定について 都市計画法に基づく開発行為により築造され本市に帰属された道路9路線について、市道に認定するもの。
5	工事請負変更契約の締結について（令和2年度特別史跡多賀城南門等復元工事） 特別史跡多賀城南門等の復元を早期に完了させるため、工事内容を追加し、契約金額を増額するもの。
6	令和3年度多賀城市一般会計補正予算（第11号） 新型コロナウイルス予防接種事業、除融雪対策事業の増額補正および子育て世帯への市単独分臨時特別給付金給付事業の追加補正などを行うもの。
7	令和3年度多賀城市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 特定健康診査等負担金返還金の増額補正などを行うもの。
8	令和3年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 後期高齢者医療広域連合納付金の増額補正などを行うもの。
9	令和3年度多賀城市水道事業会計補正予算（第2号） 収益の増加に伴う消費税および地方消費税納付額の増額補正、工事費確定に伴う配水管改良事業費の減額補正などを行うもの。
10	令和3年度多賀城市下水道事業会計補正予算（第2号） 社会資本整備総合交付金確定に伴う委託料の減額補正、八幡雨水枝線整備に伴う工事費の増額補正などを行うもの。
11	令和4年度多賀城市一般会計予算
12	令和4年度多賀城市国民健康保険特別会計予算
13	令和4年度多賀城市後期高齢者医療特別会計予算
14	令和4年度多賀城市介護保険特別会計予算
15	令和4年度多賀城市水道事業会計予算
16	令和4年度多賀城市下水道事業会計予算

●委員会付託・審査結果

【4】…総務産業建設常任委員会（可決） 【2.3.5】…文教厚生常任委員会（可決） 【6～16】…予算特別委員会（可決）

第1回定例会 表決一覧

各議員が出した結論は

案件の番号	自由民主党						日本共産党				公明党		多	市	新	根本朝栄	審議結果
	佐藤雅博	鈴木新津男	米澤まき子	森長一郎	吉田瑞生	雨森修一	遠藤秋雄	中田定行	佐藤恵子	戸津川晴美	阿部正幸	齋藤裕子	板橋恵一	昌浦泰巳	竹谷英昭		
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	同意
2～10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決
11～16	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○		原案可決

表示の説明 賛成は○ 反対は×

※ 根本議長は公正中立の立場から表決に加わず、無会派になります。

会派名 自由民主党＝自由民主党多賀城市議団 日本共産党＝日本共産党多賀城市議団
公明党＝公明党多賀城市議団 多＝多賀城市民の会 市＝市民クラブ 新＝新世紀クラブ

議員提出議案の審議

全会一致で意見書、決議および条例改正を可決しました。

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助の創設を求める意見書

補聴器のさらなる普及で、高齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながると考えることから、国においては、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設するよう強く要望するものです。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議し、ロシア軍の即時撤退等を求める決議

ロシアによる侵攻は、「主権の尊重」、「領土の保全」、「武力行使の禁止」を義務付けた国連憲章に明らかに違反する行為で世界平和を脅かすものであり、多賀城市議会は、ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、侵略戦争の即時中止とロシア軍の即時撤退を行うこと、および核兵器の先制使用を断じて行わないよう強く要求するものです。

多賀城市議会委員会条例の一部改正

令和4年4月1日からの市の組織改編に伴い、「総務産業建設常任委員会」の名称を「総務産業常任委員会」に改正し、その所管も市の新組織名称に合わせ改めるものです。

請 願

●加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助の創設に関して意見書の提出を求める請願

→議員提出議案として同内容の意見書が可決されたことから、「みなし採択」※1となりました。

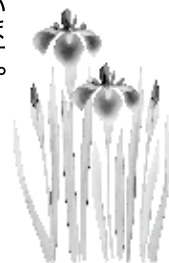
※1「みなし採択」…同じ議会の会期中において、既に同一の趣旨、目的の議案(意見書)が可決されている場合の請願について、既になされた議決と同一の議決がなされたものとみなすことをいいます。

総括質疑

委員会付託議案について、会派の代表が一括で質疑を行います。

自由民主党多賀城市議団

森 長一郎



議案第11号

令和4年度多賀城市一般会計予算について

質 子ども医療費助成制度の10月からの所得制限撤廃での財源の捻出策を伺います。

答 全世代で健康寿命を延伸し、将来的に社会保障、福祉、医療費の伸びを抑制し、また、徹底した業務の改善改革等で財源を確保します。

質 公営住宅の集約、再編計画では入居者に寄り添った対応を願います。

答 対象の皆様にはしっかりと寄り添います。

質 小中学校施設の重点修繕計画の背景と財源を伺います。

答 ふるさと応援寄付金の活用等でチルドレンファーストの考えのもと、学びの環境整備を行います。

質 ゼロカーボンシティ(※)の実現可能性を伺います。

(※)環境省において、2050年に温室効果ガスの排出量又は二酸化炭素を実質ゼロにする旨を首長自ら又は地方自治体として公表した地方自治体」と定義しています。

答 広域行政や友好都市との連携で実現させます。

質 ICTを活用したバス運賃の10月からの無償化について、また、その相乗効果を伺います。

答 デジタル社会において、誰もが恩恵を受けられ、地域を支えるアクティブシニアの活躍促進を実現します。

質 令和4年度予算の特徴、未来への投資の戦略的概念と課題を伺います。

答 子どもたちの学びを深める為に、ICT環境の充実、子どもたちの全国大会などへの参加費助成制度の拡充や親子に絵本のプレゼントをするブックスタートの開始など子どもたちの未来を創出するための投資、創業支援等を継続し、地域経済の発展など各種施策の結果を見出します。また、多賀城創建1300年の核施設となる文化センターの大規模改修により市民や多くの方々の多彩な活躍とその機会を創出する投資を行います。知恵と工夫により活用しうる地方創生関連補助金や、有利な地方財政措置のある起債を最大限に活用し、戦略的に推進してまいります。

令和4年 第1回臨時会 市長提出議案

令和4年第1回臨時議会(3月30日開催)において、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に係る補正予算などを議決しました。

1	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
	会計年度任用職員の育児休業・介護休暇等の取得要件の緩和および育児休業等取得しやすい勤務環境の整備に関する措置等を実施するため、所要の改正を行うもの。
2	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について
	令和3年人事院勧告に準拠し、一般職の職員の期末手当の支給割合を年間0.15月分引き下げることとするため、所要の改正を行うもの。
3	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
	市長および副市長の期末手当について、国家公務員特別職の職員と同様の支給割合に改定するため、年間0.1月分引き下げる改正を行うもの。
4	教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について
	教育長の期末手当について、国家公務員特別職の職員と同様の支給割合に改定するため、年間0.1月分引き下げる改正を行うもの。
5	議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について
	議員の期末手当について、国家公務員特別職の職員と同様の支給割合に改定するため、年間0.1月分引き下げる改正を行うもの。
6	工事請負契約の締結について(令和4年度多賀城市文化センター空調システム改修工事)
7	工事請負契約の締結について(令和4年度多賀城市文化センター舞台設備改修工事)
8	工事請負契約の締結について(令和3年度特別史跡多賀城南門等復元工事)
9	令和3年度多賀城市一般会計補正予算(第12号)
	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業の減額補正などを行うもの。
10	令和4年度多賀城市一般会計補正予算(第1号)
	令和4年度における新型コロナウイルス感染症緊急経済対策、教職員研修支援事業の増額補正などを行うもの。

●委員会付託・審査結果

【1～5】…総務産業建設常任委員会(可決) 【6～8】…文教厚生常任委員会(可決) 【9.10】…予算特別委員会(可決)

第1回臨時会 表決一覧

各議員が出した結論は

案件の番号	自由民主党						日本共産党				公明党		多	市	新	根本朝栄	審議結果
	佐藤雅博	鈴木新津男	米澤まき子	森長一郎	吉田瑞生	雨森修一	遠藤秋雄	中田定行	佐藤恵子	戸津川晴美	阿部正幸	齋藤裕子	板橋恵一	昌浦泰巳	竹谷英昭		
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	原案可決
2	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○		原案可決
3～10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決

表示の説明 賛成は○ 反対は×

※ 根本議長は公正中立の立場から表決に加わず、無会派になります。

会派名 自由民主党＝自由民主党多賀城市議団 日本共産党＝日本共産党多賀城市議団

公明党＝公明党多賀城市議団 多＝多賀城市民の会 市＝市民クラブ 新＝新世紀クラブ



日本共産党

遠藤 秋雄 議員

「多賀城市営住宅の廃止（解体）計画」は「白紙に戻して」

問

①「公営住宅長寿命化計画」は、「低所得者向け住宅確保は市の責任という観点で議論したのか。②耐火構造の耐用年数は70年。廃止対象団地の「大代・高崎・紅葉山・浮島」は、大代が一番古く建築後42年経過です。耐用年数と廃止の整合性は。③一次、二次判定で、大代と高崎は「建替え」。紅葉山・浮島は「改善」判定なのに、4団地の三次判定は「廃止」と変更した経緯は。④市営住宅家賃で、民間賃貸住宅に入居できる物件の調査は。⑤提案です。公営住宅を「まちづくり資産」としてとらえる施策を検討しては。

答

①大規模改善工事による入居者の仮移転よりも、住環境が整った公営住宅に移転していただくことが最良であると判断しました。②公営住宅建替事業の実施要件においては、「耐用年限の2分の1を経過していること」と明記されており、今後継続して建物を使用すべきか、もしくは、建替え、解体すべきかの方向性を明確にする必



用途廃止の説明が行われる大代市営住宅

要があります。公営住宅法や国庫補助制度など関連する諸制度と整合性が図られています。③階段での転落事故の可能性、後付けエレベーターの設置費用などの条件を十分に踏まえた上で判断しました。④国の住宅・土地統計調査にその区分がありませんので、長寿命化計画策定作業の中で「低廉な家賃かつ一定の質が確保された低廉の家賃賃貸住宅数」の推計作業を行いました。⑤住宅規模や敷地規模から考えると、その運用は難しいと判断します。

問

今回の一般質問は、3つの格言が私の発想の根底にあります。最初は「転ばぬ先の杖」、次は「警鐘を鳴らす」、最後の格言は「備えあれば患いなし」です。万に一つの場合に備えるのが、行政の役割と私は思います。市民の方、職員を守るために市長と議論をしました。①市は、窓口対応職員への暴力対策をどう考えてしょうか。②近時、ガソリンを使った無差別襲撃が多発しています。2013年（平成25年）7月12日に、兵庫県宝塚市役所で窓口のカウンター越しに火炎瓶が投げ込まれました。この事件から市は、教訓を学び、どう対策を講じられていますか。

答

①職員が、来庁いただいた方の気持ちに寄り添った丁寧な窓口対応を行うことで、未然に防止することができるとは、来庁者や職員に危害が加えられる恐れがある場合は、組織として対応していかなければなりません。



市民クラブ

昌浦 泰巳 議員

窓口対応職員への暴力及び無差別襲撃に対する備えについて

せん。②職員一人一人が非常時に最適な判断ができるよう、意識を高めていくことが大切であると考えており、来庁者や職員自身の身を守ることを最優先で行い、状況に合わせて、消火や通報といった次の対応を速やかに行えるよう、職員の意識を高めていく取り組みを行っています。

問

①令和6年までの創建1300年記念事業は、全国へ多賀城らしさを再発信する大切な取り組みですが、それ以降の取り組みについては。②復元される南門や多賀城跡の観光資源を活かした観光による交流人口増大策は。③随時完成する南門やガイダンス施設、公有化済み用地の活用は、各種団体の想いのある方、記念事業のレガシー、市長公約などの意見を検討し、ふさわしい計画と推進体制の構築が必要である。見解を伺う。④南門復元や県の整備に伴い、市道3路線の取り扱いや名古屋線の渋滞、史跡があるが故の様々な課題がある。諸課題解決への見解を伺う。

答

①市民一丸となって多種多彩な事業を展開し、この多賀城を自分たちのまちとして誇りに思っていたら、このまちのためにみんなでチカラを尽くすという「市民文化」を醸成してまいります。②市固有の歴史的、文化的資源に文化芸術を掛け合わせることで、



自由民主党

佐藤 雅博 議員

本市が目指す史跡輝くまちづくりについて



整備が進む政庁南大路

新しい多賀城の魅力を創出し、これまでにない付加価値を生み出し、交流人口を増やしていきたいと考えております。③市川地区の皆様との「市川地区まちづくり会議」の中で、御意見を頂戴するとともに、関係する各種団体および庁内関係部署と連携を図りながら、史跡活用のための推進体制について、共に構築していきたいと考えております。④市川地区の皆様との意見交換を図るとともに、関係部署と連携しながら、史跡との「共存・共営」および「活用」に向けて努めてまいります。

問1

国の未就学児の均等割5割減免に合わせ、子育て支援のため市も独自に減免の上乗せを実施してはどうか。

答

令和4年度からの未就学児の国民健康保険税均等割5割軽減の法改正により、都道府県が策定する国民健康保険運営方針に「都道府県単位での国民健康保険料・保険税水準の統一」について記載することとされ、今後の保険料・保険税統一への流れがさらに進んでいくと見込まれることから、本市独自の制度拡充などを行う考えはございません。

問2

国は、昨年の12月支給分に遡って減額すると決定しました。「不利益不遡及」の原則を逸脱し許されることではありません。多賀城市はどう対応されますか。

答

国の見解に基づき、国家公務員給与法の改正内容に基づいた対応を行っていき



日本共産党

中田 定行 議員

- ①国保の子どもの均等割減免について
- ②公務員の一時金削減について
- ③消費税インボイス制度について

問3

インボイス制度は、小規模事業者の暮らしと営業を脅かします。今やるべきことは、消費税減税です。制度廃止を国に働きかけるべきですがいかがですか。

答

国に廃止を求めるのではなく、制度の周知徹底と事業者が制度導入に向け、きちんと準備していくことが大切であると考えます。事業者が新しい制度に対応していけるよう多賀城・七ヶ浜商工会と連携しながら、周知広報に努めてまいります。





日本共産党

佐藤 恵子 議員

① 復旧、整備された貞山運河の利活用について
② ゼロカーボン宣言の実効策について

問1

① 整備された貞山運河の歴史や史跡を紹介するパネルや案内板などを設置し、運河を利活用した賑わいづくりに取り組まれない。② 貞山運河の今後の利活用と仙塩浄化センター汚泥ストックヤードの建設は相容れないと思いますが、市長の考えをお聞きます。

答

① 来年度には、復興後を見据えた利活用の推進を目的とした「貞山運河利活用推進会議」が、宮城県主体で設置されることが決定されており、宮城県に要請してまいります。② 汚泥ストックヤードの建設によって、貞山運河そのものの魅力が低下する、利活用の推進に支障をきたすといった因果関係までは現段階では認められないと判断しているところです。

問2

① 多賀城地球温暖化対策実行計画を見直し、削減目標を引き上げるとともに、市の公共施設などへの太陽光発電設備を更に進められたい。② 一般住宅への太陽光発電整備に、



大代の切り通し

答

① 事務事業編の削減目標については、区域施策編の策定過程において、併せて検討を進めるとともに、市の公共施設などへの太陽光発電設備の導入については、本市にとって十分な効果が挙げられるよう対策を研究してまいります。② 本市独自の補助制度を創設する考えはありません。③ 国などの各種補助制度の情報収集に努め、事業者が利用しやすいよう市ホームページなどを活用しながら情報提供を図ってまいります。

問1

① 消費喚起を促す本市独自の緊急経済対策に取り組んでいただきたい。② 濃厚接触者への支援について。③ まん延防止等重点措置の適用地域になるよう県へ要望を行っていたきたい。

答

① 市内の消費喚起はもとより、将来にわたって持続的な経済活性化につながるため、新たな緊急経済対策を講じるべく調整を進めてまいります。② まずは、各ご家庭での備蓄を心がけていただくことが重要であると考えておりますので、感染予防に加え、ご家族が感染した場合や濃厚接触者となった場合における事前の備えについても市民の皆様にご協力をお願いいたします。③ 飲食店などに対して経済的打撃が大きい「まん延防止等重点措置」をとらない宮城県の対応は、適切な判断であると考えております。

問2

市民へ寄り添った公文書にしていきたい。



問3

市の代表電話をダイヤルインとすることについて。

答

現在進めております庁舎耐震対策等事業に併せて、ダイヤルインを含めた新しい電話システムの導入を研究、検討しております。

答

改めて、適正な事務執行を図り、市民の皆様から信頼される市役所であるよう、職員の意識づけや研修などの職員教育を推進してまいります。

公明党

阿部 正幸 議員

① 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
② 市民へ寄り添った公文書の見直しについて
③ 本市の代表電話について

問

私たちの周りには、いろいろの公共施設、いわゆるハコモノがあり、生活に欠かせないサービスを提供しています。本市の公共施設においては、人口の急増約7万人を目標に想定した社会教育施設の整備が行われてきました。しかし、少子高齢化が進み今後厳しい財政状況が見込まれます。公共施設の維持管理の継続が喫緊の課題となっています。多賀城市民プールは、築後40年経過し、雨漏りや鉄骨の錆びなど老朽化が心配される中、改修、更新など、今後どのようにするお考えなのかお尋ねします。

答

市民プールは、今年で開館から40年を迎えるため、躯体および設備などは老朽化が進んでいる状況にあり、今後、施設の在り方について検討が必要となっております。現在、第六次多賀城市総合計画に掲げる公共施設などの縮充の考え方に基き、公共施設等総合管理計画の見直しを進めており、老



多賀城市市民プール

朽化する公共施設などの状況や将来の需要見通しを踏まえ、公共施設の集約・複合化、民間施設との連携、広域連携など、様々な選択肢の中から最善の方策を検討してまいります。

問

多賀城市内の主要道路などに面した「史都 多賀城」と表記した4カ所の大きな看板は、次の場所に設置されている。①産業道路の町前一丁目地内。②大代六丁目地内の緩衝緑地帯沿い。③東北本線塩釜街道踏切近くの新田字後地内。④陸前山王駅周辺自転車駐車場地内。これらの看板は、市外から多賀城市内に自動車などで乗り入れる際の目印で、「多賀城の顔」となっています。経年劣化によりひどく損傷している、市内4箇所に設置の大きな「史都多賀城」の看板を修繕することは、またまた撤去すべきか。

答

鉄道や道路状況が変わるとともに、自動車やスマートフォンナビゲーションシステムなどが普及し、多賀城市に到着したことは十分認識できる状況になっております。「史都 多賀城」の名称についても、観光看板のほか、様々な手段でPRに努めてきた結果、広く浸透して



陸前山王駅周辺自転車駐車場地内

きており、4カ所の看板の当初の役割は十分に果たされたものと認識しており、安全面でも問題があることから、維持修繕をしていくよりも撤去する方向で考えております。なお、陸前山王駅前の自転車駐車場内の看板については、老朽化が著しいことから、令和4年度に撤去する方向で当初予算に計上しております。



自由民主党

雨森 修一 議員

市民プールの改修更新について



自由民主党

吉田 瑞生 議員

経年劣化で損傷のひどい大きな「史都多賀城」4カ所の看板修繕について



公明党

齋藤 裕子 議員

- ① 障がい者支援について
- ② 不登校児童生徒の支援について
- ③ ハイリー・センシティブ・チャイルド(HSC)のケアについて

問1

① 宮城県の障害を理由とする差別的解消の条例の推進に、本市として、地域共生社会の実現の取り組みに、県が周知啓発用に作成した、子ども向け、事業者向けの冊子を、総合学習や、事業者向け研修会に活用した周知啓発について伺います。② 障がい者の一般就労支援への相談体制の充実について取り組みを伺います。

答

① 児童生徒に対しては、教育委員会と連携を図りながら、冊子の活用について検討してまいります。事業者に対しては、差別解消部会の研修会などで活用してまいります。② 相談支援事業所との連携を図りながら、一人一人に寄り添った対応に努めているところです。

問2

「教育機会確保法」の理念に基づいた児童生徒の相談体制や、多様な学びの提供の居場所や、自宅でのICTなどを活用した学習の確保の取り組みなどについて伺います。

答

「多賀城心のケア相談事業」として、各支援主体



宮城県作成リーフレット

問3

の連携を深め、より効果的な事業運営を行っています。また、児童生徒一人一人にタブレット端末を配布し、学習環境を整備するとともに、自宅における活用方法については、調査検証を重ねながら、より充実したものになるよう努めてまいります。

③ 5人に1人が該当するとされている、人一倍繊細な子(HSC)の特徴を知り、教職員など周囲の理解と支援が必要です。認識と対応について伺います。

答

教職員が、ハイリー・センシティブ・チャイルド(HSC)の特徴をよく理解する機会を設け、自己肯定感を高めるなどの適切な支援ができるよう、各学校に働きかけてまいります。



日本共産党

戸津川 晴美 議員

- ① 補聴器助成制度の新設を
- ② 高齢者等のバス運賃無償化とさらなる交通ネットワークの充実

問1

加齢性難聴者の補聴器購入を補助する制度の新設を求め伺います。① 難聴が高齢者の生活に与える影響と補聴器による改善について。② 日本の補聴器使用率が低い要因。③ 高齢者の健康寿命を延ばすため、補聴器助成制度の新設を求めます。

答

① 人間関係やライフスタイルに様々な影響を及ぼし、社会的に孤立する可能性があります。また、補聴器を正しく使用することで、人とのコミュニケーションが活発になり、生きがいや日常生活の質が向上することなどに寄与するものと認識しております。② 補聴器購入に対する公的補助の仕組みが十分に整備されていないことも要因の一つと考えられます。③ 補聴器の購入費用を障害者総合支援法に基づく補装具として支給していますので、新たな助成制度を導入する予定はございません。

問2

市長の施政方針で、「65歳以上の高齢者と障害者についてICTを活用し、社会

答

① ICTの活用により、誰もがデジタルの恩恵を享受できる地域社会の形成に取り組むというものです。② どのような方法を用いたとしても、路線バスにおいて「カバール」ことはできないものであるとの認識を持っています。③ 今回の社会実験の調査結果や検証結果を踏まえた上で、公共交通の新たな展開について検討したいと考えております。



多賀城市コミュニティバス

あんなこと こんなのこと あし あと 議論の足跡

市議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、ひとつひとつ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第1回定例会および第1回臨時会では、予算特別委員会において、市当局との間で主に次のような質疑応答が行われました。

質 — 質問
答 — 回答

● 予算特別委員会

(令和3年度補正) 子育て世帯臨時特別給付金 事業について

質 離婚して子どもを養育している世帯で、給付されていない場合の対応はどうなりますか。

答 令和4年2月28日時点で養育しているにもかかわらず、給付金を受け取ることができなかった方を対象に救済措置として、申請により支給されます。

質 この制度の周知は、どのようにされますか。

答 令和4年4月28日が申請期限で、児童40人30世帯を見込んでおり、広報誌やSNSで周知を図るとともに、対象者と思われる方にご案内してまいりたいと思います。

家庭相談事業について

質 コロナ禍において、児童虐待、DVなど増加傾向にあると思いますか。



厚生労働省 児童虐待防止リーフレット

ますが、現状はどう捉えていますか。

答 報道によると、全国の2021年の虐待件数は前年度比1.0%増加の、10万8千50件と、過去最多となっております。

質 本市の虐待の現状は、どのようなになっていますか。

答 本市の現状は令和4年1月末現在で、相談件数は約260件です。コロナ禍の影響で通報が増加しておりますが、通報から48時間以内に目視による児童の安全確認を行って、対応をしております。

質 コロナ禍で、アウトリーチの相談対応はどのように取り組んでいますか。

答 感染対策を取り、訪問を控えることなく、状況把握に努めてお

(令和4年度予算) ブックスタート事業について

り、今後も対面の機会を持ちながら支援を進めてまいりたいと思います。

質 どんな事業ですか。

答 家庭で親子が一緒に過ごす時間をつくり、読書を習慣づけるきっかけづくりを目指し、絵本をプレゼントする事業で、令和4年度から開始します。

質 対象とその方法は、どうなりますか。

答 本市で、3・4月月児健診を受けた親子に読み聞かせを行い、3冊の絵本の中から、その家庭に合った

化へ向けた様々な構想を練ることになりますので、森林環境譲与税は、その財源として有効に活用していきたいと思っています。



市川大久保地区から加瀬沼に至る道路

交通ネットワーク維持事業について

質

多賀城東部線および西部線のバス運賃無料化に取り組みますが、具体的にどのような内容ですか。

答

本年10月から、65歳以上の高齢者と障害者の方を対象に、ICT技術を活用した社会実験として、バス運賃無料化を実施いたします。

質

社会実験として取り組むということですが、どういうことですか。

答

高齢者や障害者の皆様の社会参加を促進する社会実験として行う中で、ICT技術の活用により運賃が無償化される仕組みを構築し、誰もがデジタルの恩恵を享受できる地域社会の形成に取り組むもので、総合的な観点からスマートフォンをお持ちの方を対象にしています。

質

デジタル化推進によるスマートフォンの利用拡大に向けては、どのように考えていますか。

答

令和4年度に、自治会、町内会においてスマートフォン講習会を実施し、ICT技術の活用による防災や行政情報など住民サービスの利便性向上を後押しできるような仕組みづくりを行い、高齢の方を含む多くの方々が、スマートフォンを活用できるようデジタル化推進に取り組んでまいります。

スマートメーターについて

質

全国でスマートメーター導入の取り組みが行われていますが、どのような内容ですか。

答

現地に行かずとも、使用水量などの検針データを確認できるもので、現在は主に首都圏を中心に実証実験が行われています。

質

県内で導入している自治体はありますか。

答

塩竈市や名取市などが、一部地域への導入や実証実験を行っています。

質

スマートメーターは、検針の自動化、水道の使い過ぎや蛇口の閉め忘れなどが通知されるほか、一人暮らしの高齢者の安否確認も可能で、福祉分野とも連携できる良いシステムです。本市で導入する予定はありますか。

答

水道メーターを電子メーターに変えるなど多額の初期投資が必要となります。本市の場合、市域が狭く検針の効率性が比較的良好ことから、費用対効果を考えると、今のところ導入する予定はありません。

(令和4年度補正)

学力向上マネジメント支援事業について

質

宮城県からの委託を受ける「学力向上マネジメント支援事業」の目的は何ですか。

答

宮城県教育委員会と本市教育委員会が連携し、最大3年間、小中学校における学力の全体的な底上げを目指す事業です。

質

学力向上マネジメントアドバイザーはどのような方で、どのように配置されるのですか。

答

宮城県が人件費を負担し、県の指導主事や学校長を経験した知見者1名を週2日程度配置します。本市教育委員会の指導主事と共に、多賀城市の方針に沿った形で各学校を回り、若手教職員の授業の指導や相談に応じます。

質

この事業で行う標準学力調査とはどのように行い、活用されるのですか。

答

国が行う全国学力・学習状況調査とは別に、算数、数学を調査科目とし、年2回実施します。その結果を分析し、一人一人の子どもの視点を置いて、日々の授業改善や授業力の向上に取り組む、つまづきの解消を推進します。

多賀城創建1300年へ向けて

多賀城創建1300年事業調査特別委員会中間報告

多賀城創建1300年事業調査特別委員会は、来る2024年、悠久の歴史をもつ多賀城が創建1300年を迎えるに当たり、永年にわたる多賀城の歴史を振り返り、郷土への誇りを醸成するとともに魅力を内外に発信し、東北をはじめ本市と縁のある地域と繋がりを深め、ともに更なる発展の契機とすることに、議会として貢献するため、必要な調査、提言を行うこととして活動しています。

第1回定例会最終日の3月7日に、多賀城創建1300年事業調査特別委員会から議長へ中間報告書を提出しました。

多賀城創建1300年事業調査特別委員会の中間報告

平成29年9月13日に設置された本特別委員会は、多賀城創建1300年を単に通過点として捉えるのではなく、悠久の歴史を経てきた多賀城の郷土への誇りを醸成し、その魅力を発信しながら、東北をはじめとする縁のある地域とのつながりを深めていくことにより、多賀城の未来へ確かな一歩を踏み出す契機となるよう、これまで16回の会議を開催し、調査や研究、討議をしながら、多賀城創建1300年事業について、様々な意見を申し上げてきました。

こうした中、ハード事業については、復興のシンボルであり、多賀城創建1300年を象徴する特別史跡多賀城南門等の復元工事が着々と進んでいるところであります。

また、ソフト事業については、令和3年5月に「東北を愛し、心を寄せる皆さまとともに、過去と未来を結ぶ多種多彩な記念事業の推進」を目的に、多賀城創建1300年記念事業実行委員会が設立されるなど、多賀城創建1300年をより良いものとするための様々な動きが既に始まっています。

こうした動きを踏まえ、本特別委員会としては、多賀城南門等の復元事業と多賀城創建1300年記念事業、そして、これらにより期待される様々な効果等について、各委員がさらに調査、研究を重ね、討議を行うことで、この事業への理解を深めることができるよう、引き続き調査を進めていきます。

委員長: 吉 田 瑞 生

南門工事現場視察調査状況（令和2年8月）



訃報

江口正夫議員は、令和4年1月24日に御逝去なされました。

市議会議員補欠選挙の要件

現在、多賀城市議会では、条例で定めている議員定数18名に2名の欠員が生じておりますが、公職選挙法の規定では、欠員が条例で定めている定数の6分の1を超えたときや、市長選挙が行われる場合で議員定数に欠員が生じているとき、補欠選挙が行われます。

議会運営委員会の構成が変わりました。

江口正夫議員の御逝去に伴い、本年1月、委員に戸津川晴美議員を指名し、2月に竹谷英昭議員を委員長に選任しました。

令和4年 第2回定例会

次回の定例会は

6月中旬開催の予定です。

- 正式な日程は、決まり次第、広報多賀城・市ホームページでお知らせします。

- 定例会本会議、予算特別委員会・常任委員会はYouTubeでもご覧いただけます。

スマートフォンで議会中継をご覧になりたい方のアクセスはこちらから



※現在、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、間隔を空けた座席での傍聴をご案内しています。議会図書室での傍聴も可能です。

…… 今回の表紙 ……

コロナ禍でも子どもたちの見守りボランティア活動を 続けている皆さん

暑い日も寒い日も雨の日も雪の日も街頭指導を行っていただき感謝しております。

特にマンモス坂の下から登ってきた車にとっては見通しが良くない場所になりますので、その場所で指導をしていただくことは事故防止の観点からとても助かっております。また、指導を行っていただいている方々からの「おはよう」という声がけにより、子どもたちは挨拶の習慣が身につくと共に、元気がないときでも背中を押されます。繰り返しになりますが、日々の街頭指導に感謝を申し上げます。

(多賀城小学校 丸田 浩之 校長)



本郷 久さん



大沼 金雄さん



板橋 仁志さん



板橋 正晃さん



畑中 和子さん



熊谷 力さん

平成28年に通勤・通学時間帯に事故が起きたことから、児童生徒の命を守るために、旭ヶ岡町内会の交通防犯協会の活動として、信号機のない横断歩道で、朝の通学時間帯に交通安全と見守り活動が開始されました。寒い日も暑い日もコロナ禍においても、今日まで取り組んでいただいております。多賀城小学校校長先生からも感謝の言葉を頂戴しております。いつも通るドライバーの方からは、「皆さんが立っているおかげで、一時停止や確認の意識向上につながっています」と、また、見守り隊の本郷さんは、「子どもたちの元気な挨拶に、こちらが励まされております」と伺いました。そして、旭ヶ岡町内会の畑中町内会長さんからは、「子どもたちの交通安全対策はもちろんです、朝の挨拶を通して子どもたちの健やかな成長を地域で見守ることが大事だと思います。コロナ禍ではありますが、地域で出来る事をこれからも推進してまいります。」とのお話を頂きました。車を運転するものとしては、交通安全に努める見守りの方々に感謝しながらハンドルを握りたいと思います。

(レポーター 齋藤 裕子)



広報特別委員会

委員長	委員	委員	委員	委員	委員長
米澤 まき子	佐藤 雅博	鈴木 新津男	戸津川 晴美	齋藤 裕子	昌浦 泰巳

(昌浦 泰巳)

これまで9回編集後記を書かせていただき、今回が10回目です。第1号発行時点で議員だった現広報特別委員会委員は、6人の中では私だけです。これを執筆するに当たり、市議会だよりを第1号から見直してみると、徐々に改良が加わってきて、見やすい誌面となってきたことを実感しました。歴代の広報特別委員会委員のご努力の結果が今日の市議会だよりとなっております。しかしながら、最近、私は市民の方から誌面に関して用語の解説を多く載せるようご要望をいただきました。委員会では報告し、誌面づくりに活かす所存です。この編集後記を書いているのは、3月中旬で、ロシアのウクライナ侵攻の真っ最中です。この第119号が皆様の御手元に届くときには停戦となり、ウクライナに平和が訪れていることを願わずにはいません。

編集後記

